

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	犬山市	代表者名	山田 拓郎
担当者部署	経営部情報政策課	連絡先電話番号	0568-44-0304
担当者役職	主査	担当者氏名	三田村 尚樹
住所	484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> 画像オープンデータやスマートスピーカーとの連携等、具体的なオープンデータの活用方法がイメージしやすい事例を紹介いただきました。 ワークショップの進行がよく、参加した職員から積極的な意見が出されていました。
アドバイザーへの要望事項	犬山市側で今後の研究テーマの選定等を行うため、実現化に向けたご指導を引き続きお願いしたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月9日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	犬山市役所		最寄駅	犬山駅
	所在地	愛知県犬山市大字犬山字東畑36番地		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	フォローアップ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	-----------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	入庁3~8年目の若手担当職員	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	報告書第2日目に記載の内容の他に、 ・オープンデータはどんなデータを用意すればよいのか、具体的に何に利用されるのかがわかりにくい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	オープンデータの活用方法について、先事例を参考としてオープンデータが何に使えるのかイメージできるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータ化した画像とスマートスピーカーを連携させた事例の紹介 事例を参考に、犬山市で業務効率化や市民サービス向上を目的として何かできないかアイデア出しのためのワークショップ(アイデアソン) 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ワークショップであがった内容について、実現性やコスト等の観点から継続して研究を続けていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にな (今後も継続して活動していきます)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付します	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今回あがったテーマについて調査研究を継続し、導入・実運用まで進めることができるとよい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

